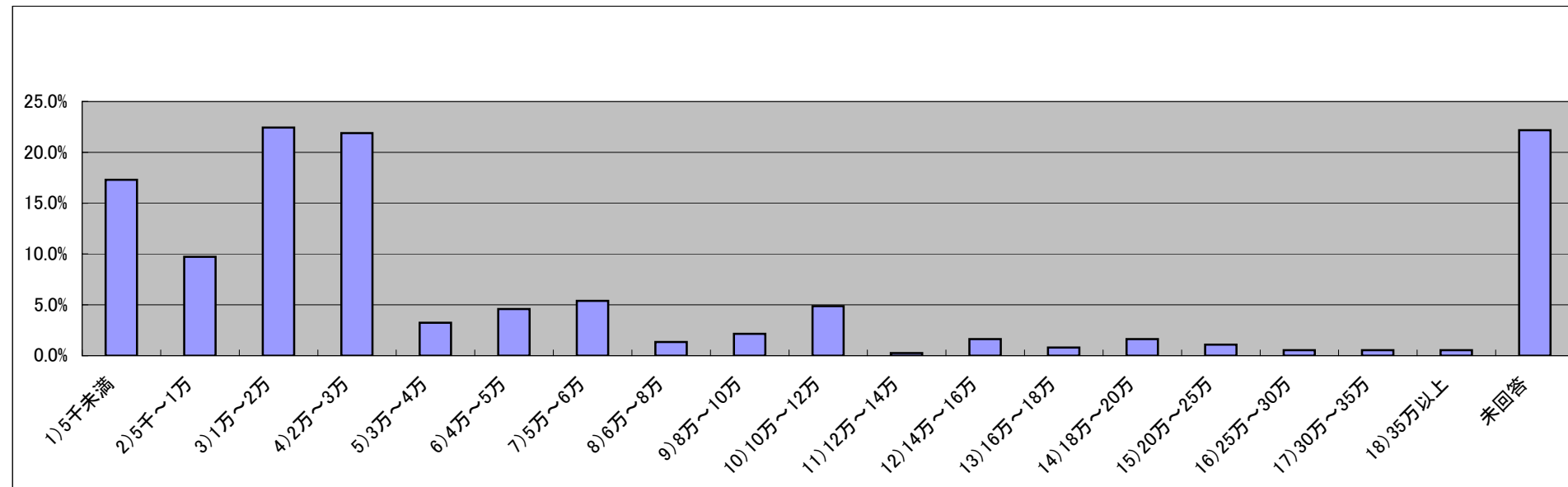


11. 特許の無効審判

(1)事前打合せ

質問1:無効審判請求を前提として依頼人が提供する特許文献及び非特許文献あわせて5件を検討し、対象特許の無効を主張する論理構成をして依頼人に口頭で説明した後、無効審判請求をしないことになったときの検討料

1)5千未満	2)5千～1万	3)1万～2万	4)2万～3万	5)3万～4万	6)4万～5万	7)5万～6万	8)6万～8万	9)8万～10万	10)10万～12万	11)12万～14万	12)14万～16万	13)16万～18万	14)18万～20万	15)20万～25万	16)25万～30万	17)30万～35万	18)35万以上	未回答	無効	合計
64	36	83	81	12	17	20	5	8	18	1	6	3	6	4	2	2	2	82		370
17.3%	9.7%	22.4%	21.9%	3.2%	4.6%	5.4%	1.4%	2.2%	4.9%	0.3%	1.6%	0.8%	1.6%	1.1%	0.5%	0.5%	0.5%	22.2%		100.0%

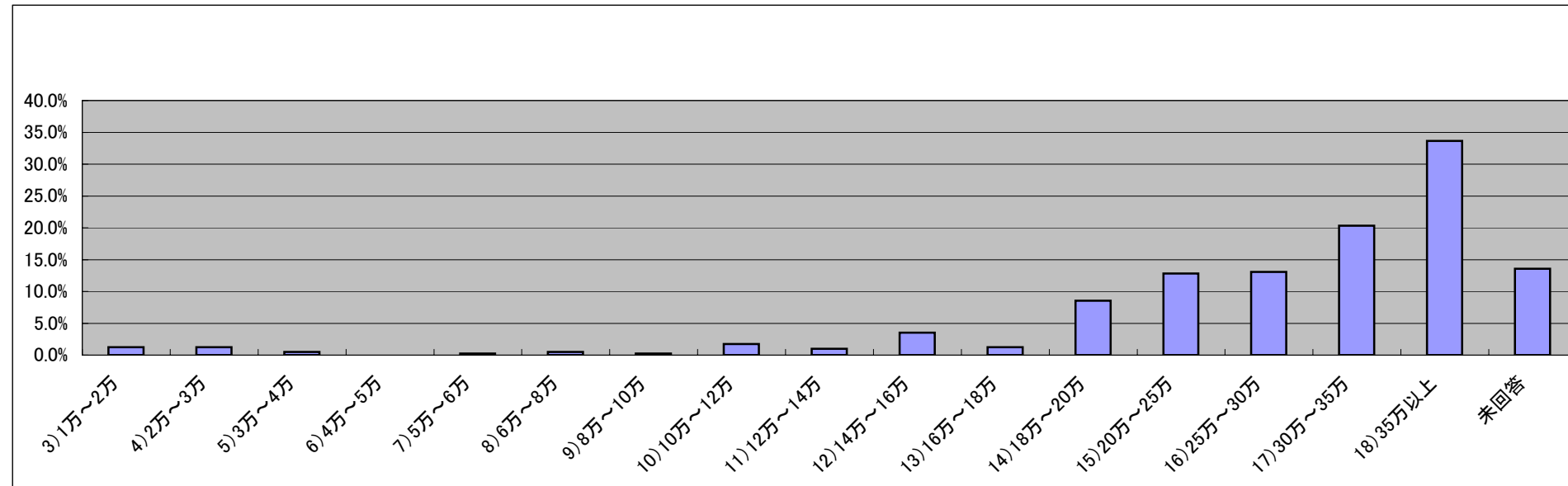


(解説) 対象となる特許、無効の証拠となる特許文献及び非特許文献を精読してその内容を把握し、論理構成をまとめるまでの段階で、補正書提出のための重要な検討が済んでいるため、依頼人の都合で無効審判をしないことになったとしても手数料は発生します。手数料や労力は、案件の複雑さや論理構成の困難性によって違うため、手数料は幅があります。

(2)無効審判の請求

質問1:請求項1についての無効審判請求の手数料(タイプ代、図面作成代、オンライン手数料等の実費を含む。印紙代及び公租公課を除く。)

1)5千未満	2)5千～1万	3)1万～2万	4)2万～3万	5)3万～4万	6)4万～5万	7)5万～6万	8)6万～8万	9)8万～10万	10)10万～12万	11)12万～14万	12)14万～16万	13)16万～18万	14)18万～20万	15)20万～25万	16)25万～30万	17)30万～35万	18)35万以上	未回答	無効	合計
0	0	5	5	2	0	1	2	1	7	4	14	5	34	51	52	81	134	54		398
0.0%	0.0%	1.3%	1.3%	0.5%	0.0%	0.3%	0.5%	0.3%	1.8%	1.0%	3.5%	1.3%	8.5%	12.8%	13.1%	20.4%	33.7%	13.6%		100.0%



(解説)「平成15年 事務報酬アンケート調査」(16)を参照。

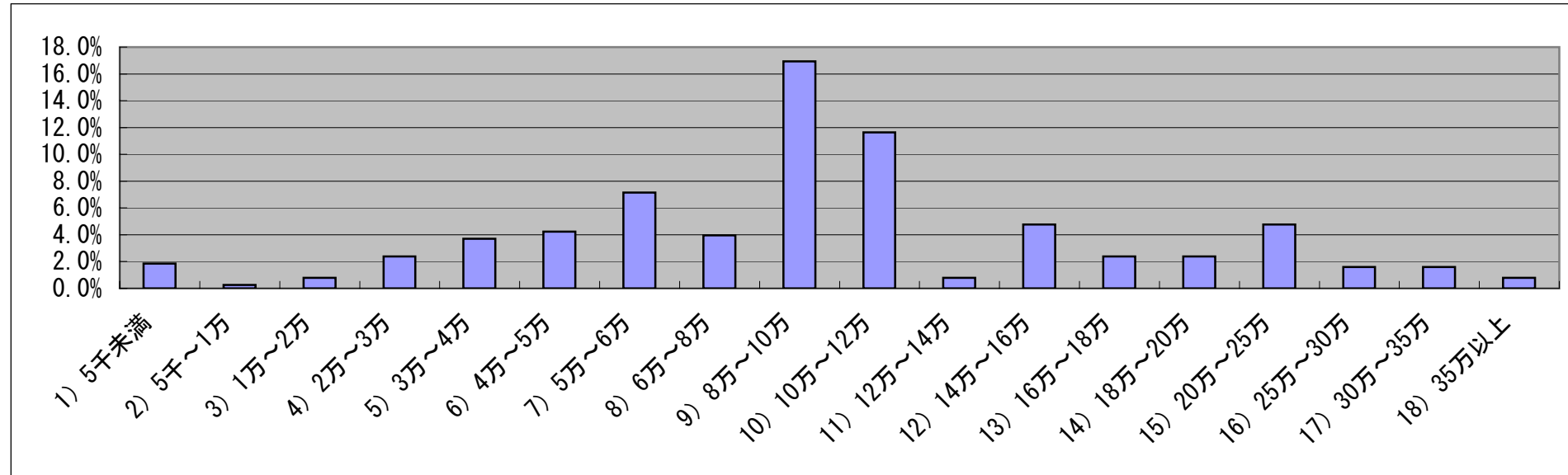
このアンケート調査では、回答者の33.7%が回答欄の手数料の上限の35万円以上と回答しており、かなり難易度が高いものと認識されています。案件の難易度は、単純に証拠の公知文献の数の多少に関するものではありませんので、あらかじめ弁理士にご相談ください。

(3)口頭審理

質問1:依頼人との事前打合せに基づき口頭審理陳述要領書を作成し特許庁審判官に提出した上で審判廷に出廷し口頭審理を行ったときの手数料

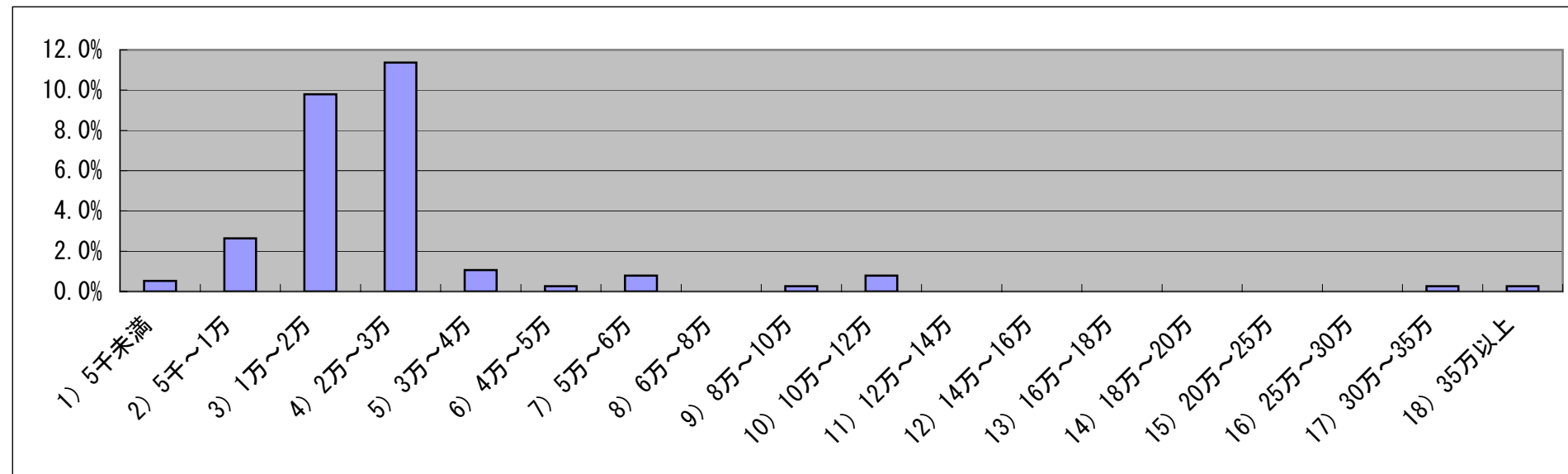
(a)一律に一定の額

1)5千未満	2)5千~1万	3)1万~2万	4)2万~3万	5)3万~4万	6)4万~5万	7)5万~6万	8)6万~8万	9)8万~10万	10)10万~12万	11)12万~14万	12)14万~16万	13)16万~18万	14)18万~20万	15)20万~25万	16)25万~30万	17)30万~35万	18)35万以上
7	1	3	9	14	16	27	15	64	44	3	18	9	9	18	6	6	3
1.9%	0.3%	0.8%	2.4%	3.7%	4.2%	7.1%	4.0%	16.9%	11.6%	0.8%	4.8%	2.4%	2.4%	4.8%	1.6%	1.6%	0.8%



(b)事前打合せ、口頭審理陳述書起案、出廷の全所要時間に1時間あたり以下の金額に所要時間を乗じた額

1)5千未満	2)5千~1万	3)1万~2万	4)2万~3万	5)3万~4万	6)4万~5万	7)5万~6万	8)6万~8万	9)8万~10万	10)10万~12万	11)12万~14万	12)14万~16万	13)16万~18万	14)18万~20万	15)20万~25万	16)25万~30万	17)30万~35万	18)35万以上
2	10	37	43	4	1	3	0	1	3	0	0	0	0	0	0	1	1
0.5%	2.6%	9.8%	11.4%	1.1%	0.3%	0.8%	0.0%	0.3%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.3%



(解説) 口頭審理は、審判廷で口頭で無効理由を陳述し、相手の陳述に対して反論し、審判官の質問に対して応答する中で審理が進められるため、入念な事前の検討と準備が必要とされます。

案件の複雑さによって手数も労力も違うため手数料にも幅がありますので、あらかじめ弁理士にご相談ください。

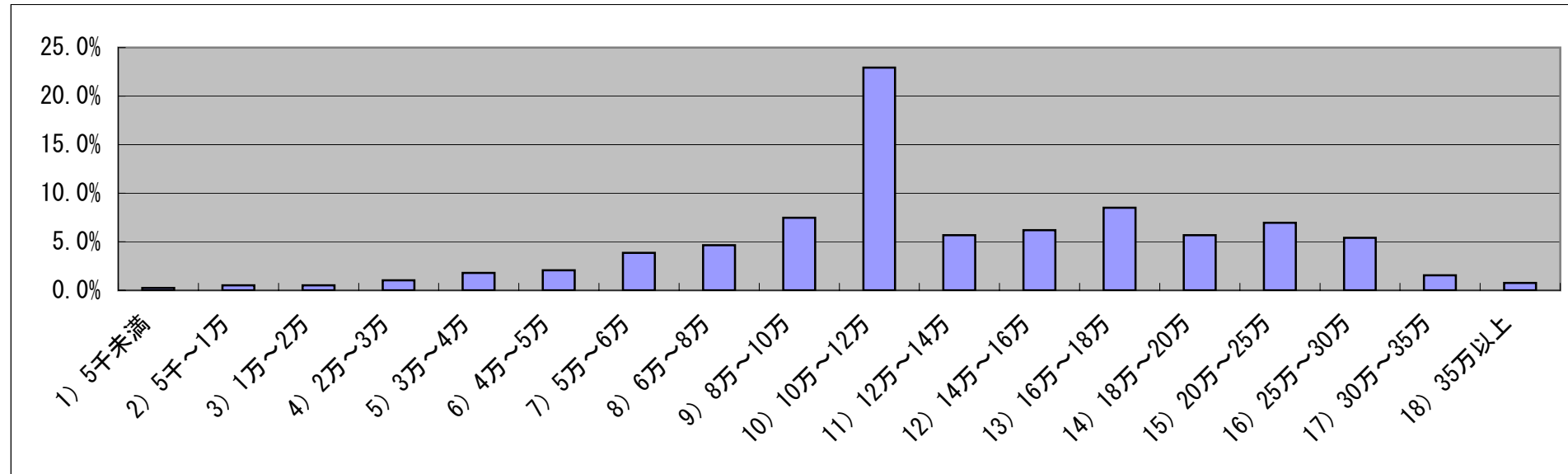
未回答	無効	合計
78	4	378
20.6%		100.0%

(4)訂正請求

質問1:無効審判に対する訂正請求書の提出

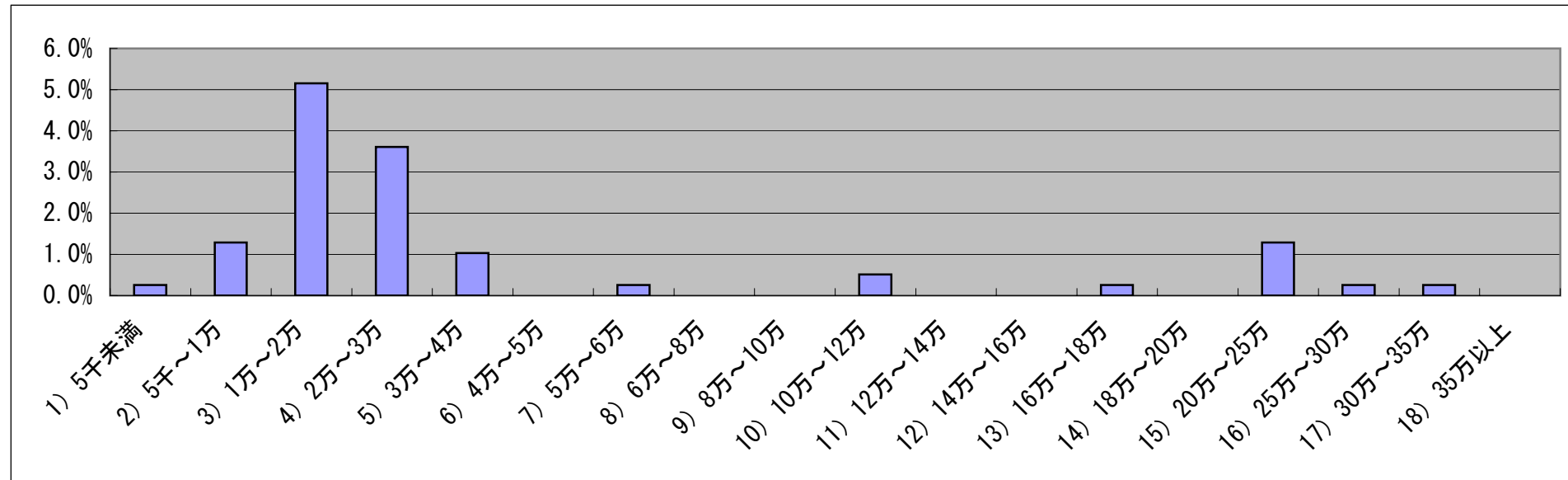
(a)一律に一定の額

1)5千未満	2)5千~1万	3)1万~2万	4)2万~3万	5)3万~4万	6)4万~5万	7)5万~6万	8)6万~8万	9)8万~10万	10)10万~12万	11)12万~14万	12)14万~16万	13)16万~18万	14)18万~20万	15)20万~25万	16)25万~30万	17)30万~35万	18)35万以上
1	2	2	4	7	8	15	18	29	89	22	24	33	22	27	21	6	3
0.3%	0.5%	0.5%	1.0%	1.8%	2.1%	3.9%	4.6%	7.5%	22.9%	5.7%	6.2%	8.5%	5.7%	7.0%	5.4%	1.5%	0.8%



(b)1時間あたり以下の金額に所要時間を乗じた額

1)5千未満	2)5千~1万	3)1万~2万	4)2万~3万	5)3万~4万	6)4万~5万	7)5万~6万	8)6万~8万	9)8万~10万	10)10万~12万	11)12万~14万	12)14万~16万	13)16万~18万	14)18万~20万	15)20万~25万	16)25万~30万	17)30万~35万	18)35万以上
1	5	20	14	4	0	1	0	0	2	0	0	1	0	5	1	1	0
0.3%	1.3%	5.2%	3.6%	1.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	1.3%	0.3%	0.3%	0.0%



(解説)「平成15年 事務報酬アンケート調査」(13)を参照。

未回答	無効	合計
68	4	388
17.5%		100.0%